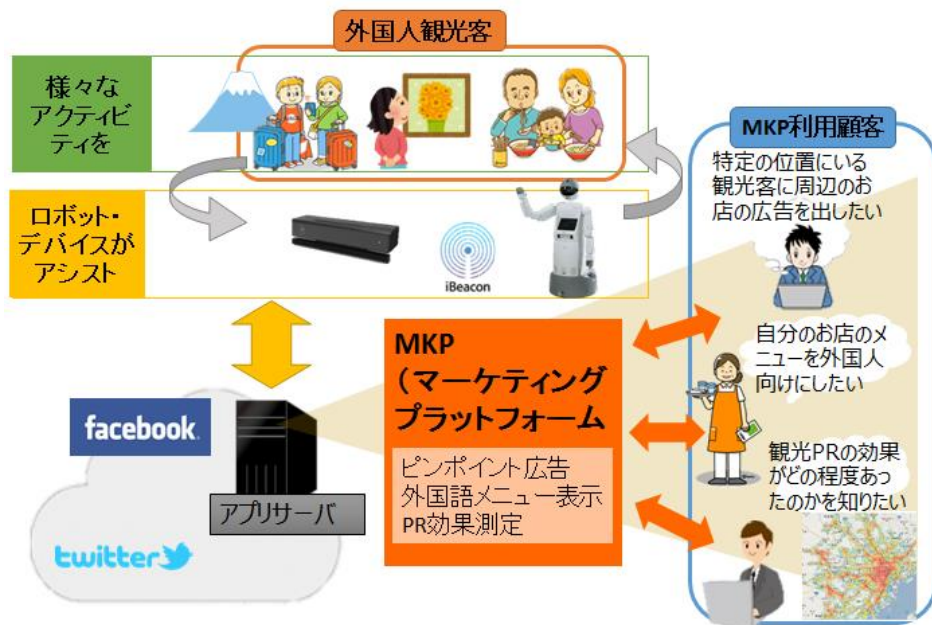


・サービス概要

インターネットの普及とIT技術の進化により大容量かつ多様なデータが集まり、それを資産と考え分析する仕組みが進みつつある。

今回構築するモデルは、サービスロボットを利用して顧客にアプローチすることで、スマートフォンやソーシャルネットワークを通して顧客からリアルな情報を収集し、収集した情報をビッグデータとして蓄積・分析してマーケティングに利用するためのプラットフォームである。

このプラットフォームを利用して、今回は訪日外国人旅行者が増加し成長著しいインバウンドビジネス向けの以下の2つのサービスを提案する。





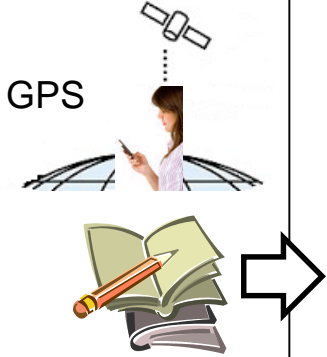

・サービス1

観光地等に設置したサービスロボットを利用し記念撮影を提供し、撮影した写真と引き換えにデータを収集・蓄積・分析する。

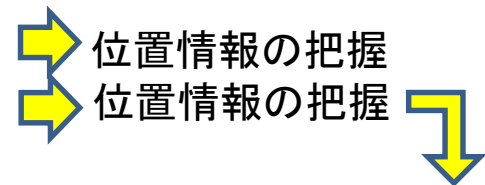
・サービス2

店舗等に設置したサービスロボットに取り付けたiBeaconを利用しスタンプラリーを提供し、それと引き換えにデータを収集・蓄積・分析する。

サービスロボットを利用したマーケティングプラットフォームの流れ

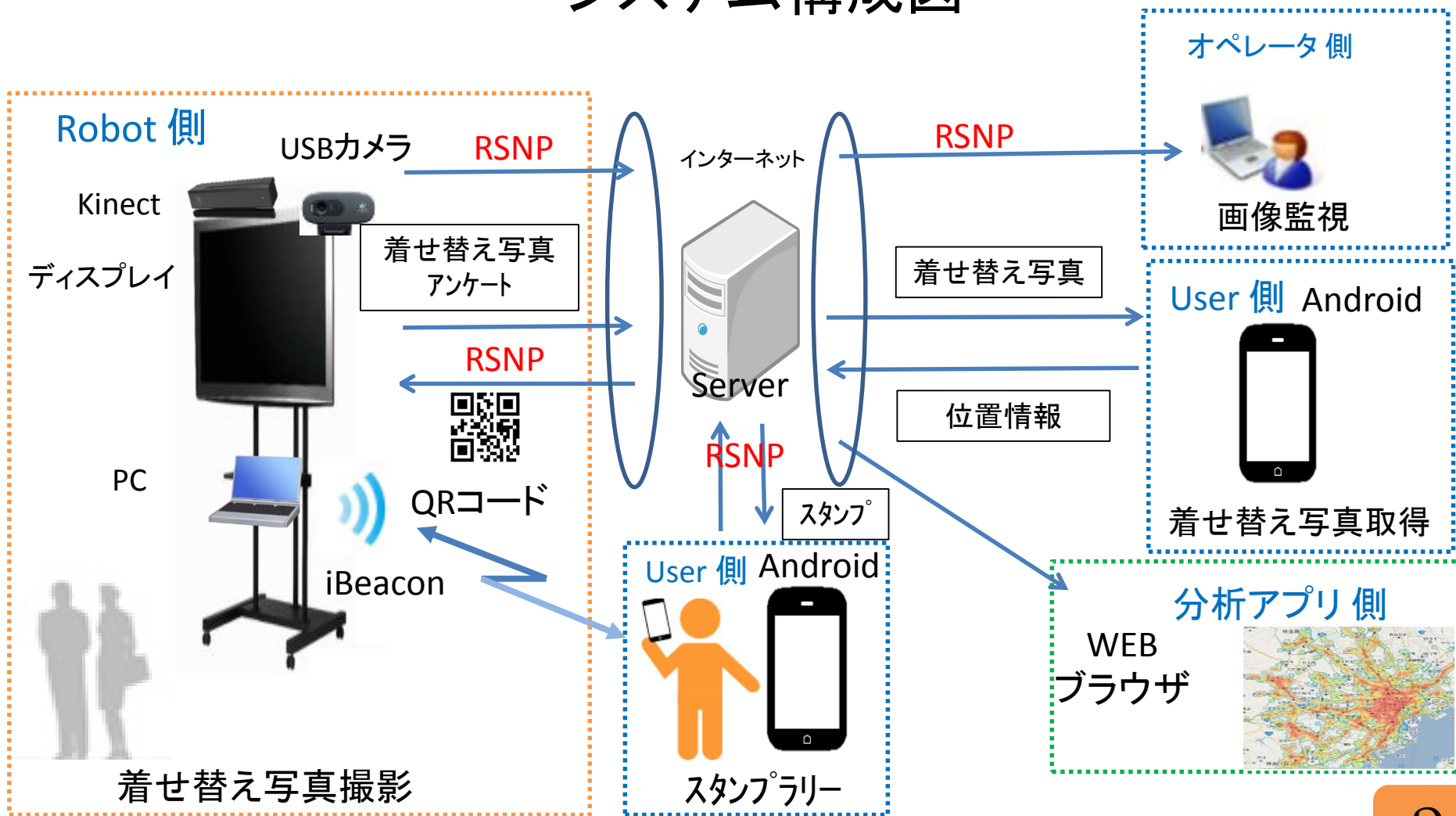
PLAN	DO	CHECK	ACT
①主催者事前作業	②顧客来訪	③データ収集	④分析・評価
 ⑤データの分析利用	 <p>スタンプラリー</p> <p>着せ替え写真撮影</p>	 <p>GPS</p> <p>サーバー</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントプラン ・観光プラン 	<ul style="list-style-type: none"> ・着せ替え写真撮影 ・スタンプラリー ・スマホアプリダウンロード ・観光客Twitter,Facebook投稿 	<ul style="list-style-type: none"> ・投稿記事 ・位置情報 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客情報 ・ヒートマップ等

着せ替え写真撮影 → 撮影結果を得るためのアプリをダウンロード
 スタンプラリー → iBeaconにスマホが反応し、スタンプを取得

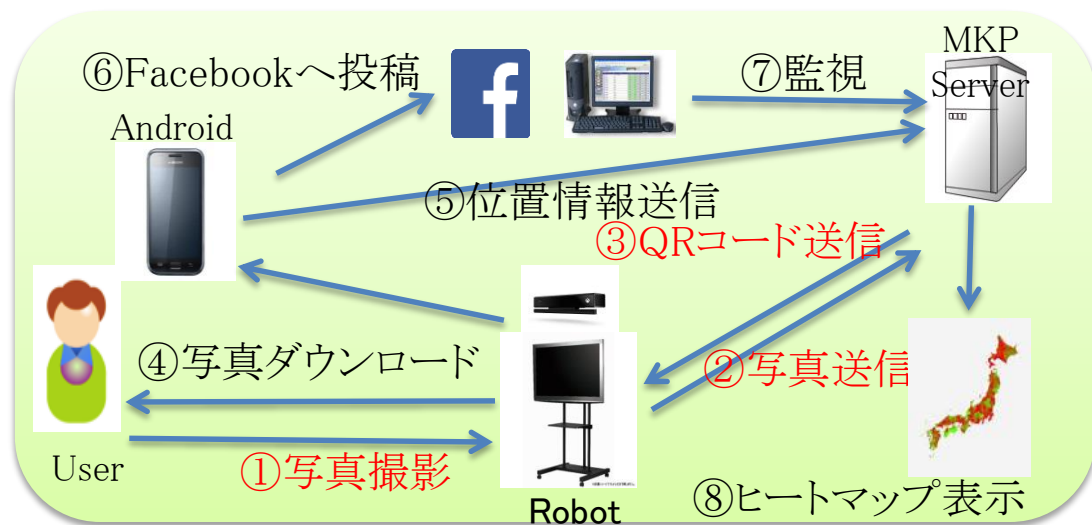


データの分析利用 ←

システム構成図



・サービス 1 概要
(kinectで記念撮影、QRコードの取込)

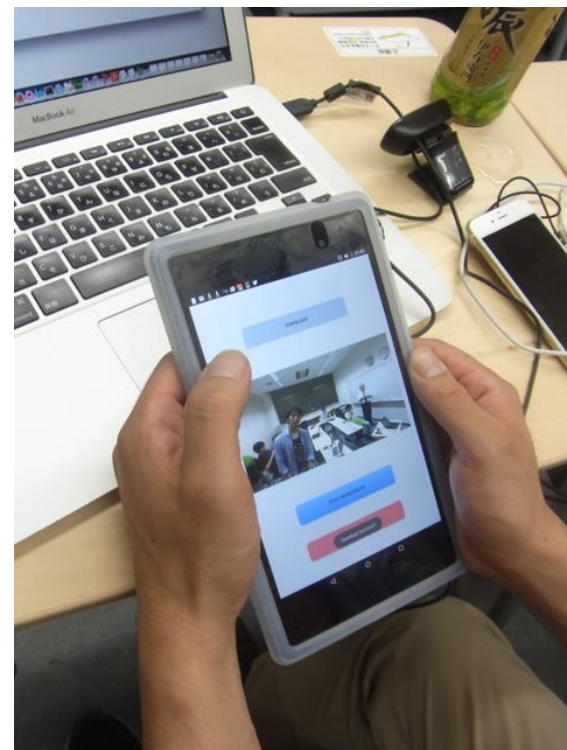
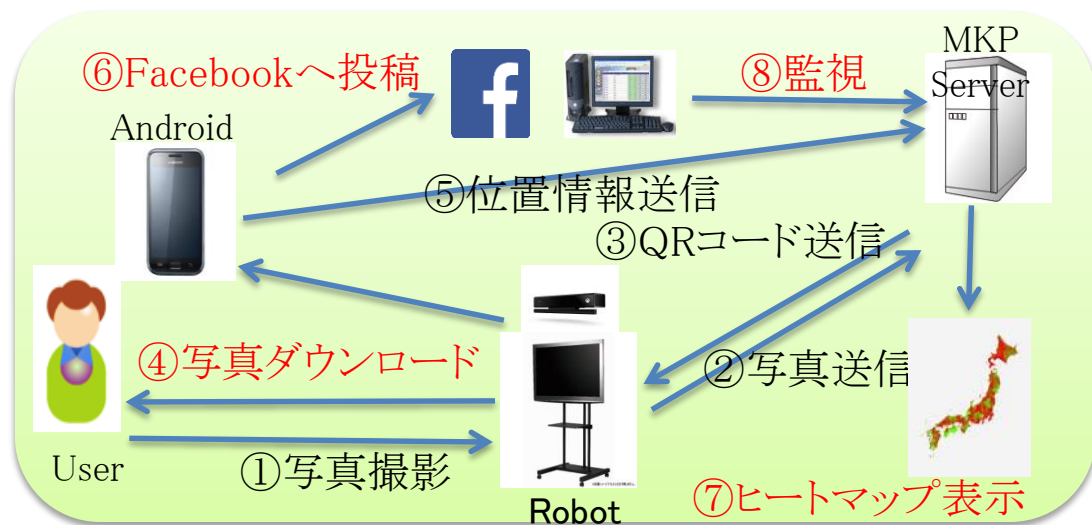


ロボットに近付き画面にタッチすると、メニュー画面に移動し、画面の「撮影ボタン」を押すとKinectの着せ替え写真撮影機能が起動する。着せ替え写真撮影画面上で、音声による着せ替えイラストを選択し、画像に重畳して撮影を実行する。

記念撮影後、タッチパネル画面にアプリインストールのためのQRコードが表示される。顧客は自分のスマートフォンでQRコードを取り込む。QRコード取込後、アプリケーションダウンロードサイトに誘導され、ここでアプリケーションをダウンロードすると着せ替え写真をダウンロード出来るようになる。

・サービス 1 概要

(写真のダウンロード、SNSへの写真投稿)

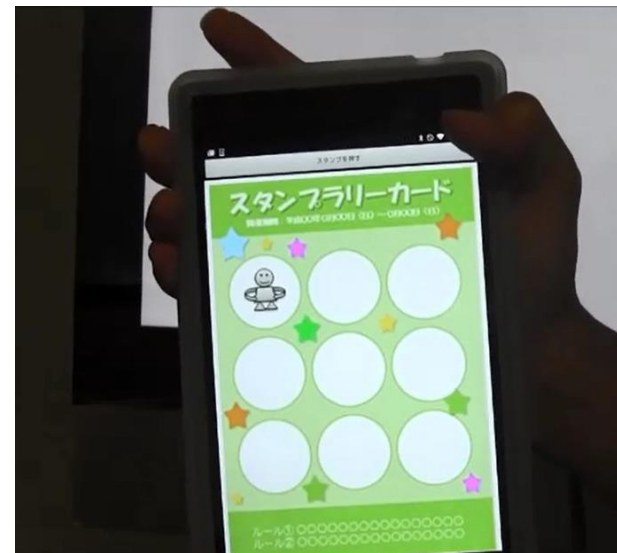
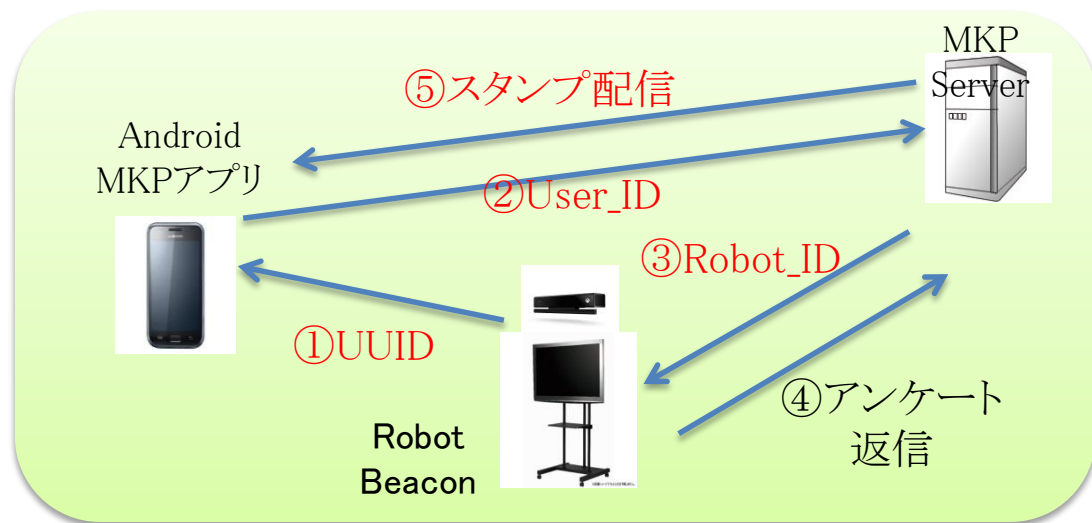


アプリケーションのインストール後に起動させ写真ダウンロードのボタンを押す。着せ替え写真をスマートフォン端末上に、閲覧取得する。SNSの起動ボタンを押す。顧客の加入するSNSへのログイン画面に移動するので、ログインする。ログイン後、SNSに着せ替え写真添付の投稿が可能となる。

MKPサーバに蓄積されたユーザデータを利用してヒートマップを表示させる。

ロボット稼働時は、RSNPを利用してMKPサーバを介してサービスロボットに取り付けられたカメラを操作し、撮影画像データを一定間隔でMKPサーバに配信させ運用監視する。

・サービス 2 概要 (スタンプラリーとアンケート)



サービスロボットにスマートフォンを近付けると、iBeacon発信機のプッシュ通知によりMKPアプリが起動する。MKPアプリとMKPサーバ、MKPサーバとサービスロボットがRSNPを用いて「User_ID」、「Robot_ID」をやり取りし、サービスロボット上にアンケートを表示する。

ユーザがアンケートに回答すると、その結果はMKPサーバに送信・格納される。それを受けてMKPサーバからMKPアプリにRSNPを用いてスタンプが送信される。

あたかもAndroid端末とロボットとが直接スタンプのやり取りをしているかのような振る舞いを提供している。